



オービックシーガルス通信

秋季リーグ戦は10月に延期・短縮して開催予定

習志野市茜浜を拠点に活動する社会人アメリカンフットボールのクラブチーム「オービックシーガルス」は、ライスポウル（日本選手権）で7度目の日本一を果たし、さらなる高みを目指しています。また地域の学校訪問などのホームタウン活動にも力を入れています。

新型コロナウイルスの影響で春季公式戦（パールポウルトーナメント）は中止となりましたが、8月末開幕予定だった秋季リーグ戦についても、延期が発表されました。10月開幕で期間を短縮しての開催を目指し、検討が行われている状況です。3月末からチーム活動を休止していたオービックシーガルスですが、政府による緊急事態宣言解除に伴い、6月よりチーム活動を段階的に再開しました。毎日の体温測定、手指の消毒、マスクの着用などはもちろんのこと、チームをポジションごとに4分割し、グラウンドやトレーニングルームの使用時間を区切って「密」を避けたり、ヘルメットにマウスシールドを装着したりと

工夫しながら、世の中の状況に応じた対応をしています。7月になってもチーム全体ではまだ集合できていない状況ですが、「今だからこそ」のやり方で練習に取り組んでいます。

活動休止期間中には、チーム初の試みであるオンラインイベント「GULLS BOOT CAMP（ガルスブーツキャンプ）」を実施しました。テレビ会議のシステムを利用し、オービックシーガルのトレーナー指導のもと、口頭選手が取り組んでいるリモート（遠隔）トレーニングにファンの皆さんも加わっていただき、一緒にトレーニングしながら選手とコミュニケーションを図っていただく企画です。

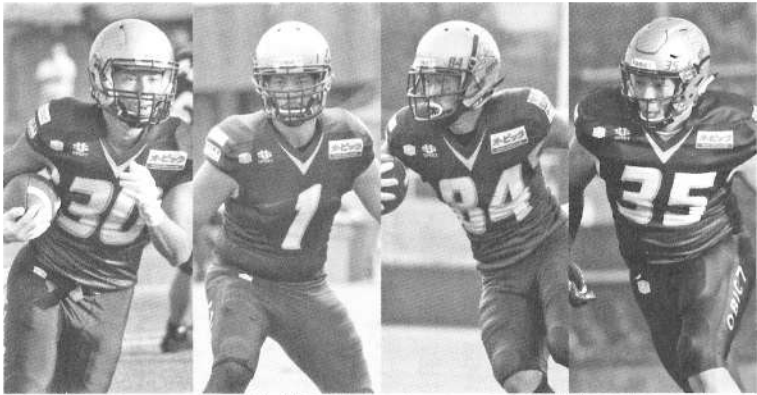
参加者からは「トレーナーのお手本がわかりやすかった」「室内で器具を使わずに有酸素運動ができるとは驚きだった」「選手と身近に触れ合えて楽しかった」などと感想をいただきました。

また、年1回グラウンドで大学生対象に実施していた、選手のトレーニングやブレーのコツを伝授する「鴨道場」も、今年は「在宅鴨道場」としてオンラインで実施しました。学生から質問を募集し、その回答を選手がオンラインで直接学生に伝えるというものです。ブレーにおける体の使い方やトレーニング方法、戦術の理解、メンタルの保ち方など、質問内容は多岐に渡りましたが、選手はポジション別に分かれ、事前に資料を作

成して配布したり、画像や動画を見せながら説明したりと工夫し、学生にとつて実りあるものになるべく真剣に取り組みました。学生から受ける質問で気付かされることも多く、選手にとつても良い刺激となり、今後の成長の糧となりました。

今後の状況に応じて、このようなオンラインツールも活用しながら、応援してくださる皆さまと交流できる機会を作っていきたいと考えています。先のない状況で、イレギュラー続きのシーズンとなりますが、私たちは決して歩みを止めてはいけません。いずれ皆さまに元気な姿をお見せできるその時まで、成長を続けていきます。今シーズンのオービックシーガルスもぜひご期待ください。

■選手幹部発表
活動再開にあたり、チームキャプテン・バイスキャプテンが決定しました。この4人が中心となり、いろいろなメンバーを巻き込み伝播していくスタイルで、チームをひとつにまとめていきます。変



（左から）キャプテン：RB#30 地村知樹選手/バイスキャプテン：DB#1 砂川敬三郎選手/バイスキャプテン・オフェンスリーダー：WR#84 西村有斗選手/バイスキャプテン・ディフェンスリーダー：DL#35 佐藤将貴選手

■スポーツクラブ「VITABASE」営業再開

政府による緊急事態宣言を受け4月7日から休業していたスポーツクラブ「VITABASE（ヴィータベース）」ですが、6月1日より営業を再開しました。休業期間中には、光触媒による防菌加工を全館に施し、マシンとマシンの間にはパーテーションを設置、フロントには飛沫除けのカーテンを設置するなど、対策を講じました。また、営業に際しては安全・安心ガイドラインを策定し、入館時の体調・体温チェック・換気・手指の消毒・マスク着用の徹底はもちろん、営業時間中一時営業を中断し一斉清掃を行うなど、十分な安全対策を行っています（6月現在）。習志野市における皆さまの健康インフラ・憩いの場「BASE（基地）」としてご利用いただけるよう努めていますので、ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか？（無料見学・体験実施中です）

※「VITABASE」はオービックシーガルスがサポートするスポーツクラブです。